

## 第3期 羽島市地域福祉活動計画の策定にあたって

少子高齢化の急速な進展、長引く景気の低迷や雇用不安、ライフスタイルや価値観の多様化などを背景に、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化にともない、経済的困窮やひきこもり、虐待や社会的孤立、孤独死など、地域住民が抱える生活課題も複雑化・潜在化する傾向にあります。

このような状況のもと、福祉の分野においては、これまでのような経済成長が望めない中にあることは、社会保障制度の拡大は難しく、地域住民が主体となって行う地域福祉活動に大きな期待が寄せられるようになっていきます。

このたび、平成28年度から5か年の計画として、「みんなで見守り みんなで行動する“支え合いのあるまち”羽島」を基本理念とする第3期羽島市地域福祉活動計画を策定しました。この計画の基本理念には、個人が抱える問題に目を向け、私たちの地域の問題として共有化し、解決に向けた行動をすることで、誰もがこの地域に住んでいて良かったと思えるようにしたいという思いが込められています。

この基本理念を実現するために、市の行政計画である「地域福祉計画」と両輪をなし、互いに役割分担をし、連携し合いながら地域福祉の実現という共通の目的に向かって進んで参る所存です。

最後になりましたが、計画策定にあたりまして、熱心にご審議いただきました地域福祉活動計画策定委員会の皆さま、また、貴重なご意見をいただきました市民の皆さまをはじめ各方面からいただいたご指導・ご協力に、心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会  
会長 中 畑 弘